

KODAK PIXPRO FZ55

DIGITAL CAMERA

取扱
説明書



警告

適合宣言

責任団体：JK Imaging Ltd.

住所：JK Imaging Ltd., 17239 So. Main Street, Gardena, CA 90248 USA

カメラに関する情報の提供： kodakpixpro.com

本マニュアルについて

コダックデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- JK Imaging Ltd. は本マニュアルの著作権を保有します。本マニュアルは、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、JK Imaging Ltd. の書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、コダックデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。
- 情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルは次の記号が使用されています。



知っている役に立つ情報を示します。



カメラを操作している間取るべき注意事項を示します。

- カメラの操作を紹介するとき、理解しやすくしていただくために、次の記号が文章に表示されています。

[アイテム内容]：液晶モニターに表示されるアイテム内容は[]記号で表示されています。

著作権について

- 本製品で撮影した画像は、個人で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権の侵害によって生じたトラブルや損害などについては、一切その責任を負いません。

免責について

- 本製品の取扱説明書に従った取り扱いをしなかったことに起因して生じた損害については一切その責任を負いません。
- 万一、本製品及びカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本製品の使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害については一切責任を負いません。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

-  **危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが高いと想定される内容を示しています。
-  **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
-  この記号は注意を促す内容を告げるものです。
-  この記号は禁止の行為を告げるものです。

カメラの取扱いについてのご注意

-  **警告**
-  分解や改造をしないでください。感電したり、けがをするおそれがあります。
-  落下などで破損し内部が露出したときは、露出部に手を触れないでください。感電したり、ケガをする原因となります。
-  水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさないでください。(防水カメラを除く)火災、感電の原因となります。
-  カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切って、電池とメモリーカードを取り出して、販売店或いはサービスステーションにご相談ください。

-  煙が出る、異臭がするなどの異常が発生したときはすみやかに電池を取り出してください。やけどや火災の原因になります。電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
-  可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在する恐れのある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因となります。
-  フラッシュを人の目（特に乳幼児）に近付けて発光しないでください。視力障害の原因となります。
-  幼児の手の届かないところに保管してください。メモリーカードや電池などの小さな付属品を誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだときはただちに医師の診断をうけてください。
-  指定外の電源は使わないでください。火災や感電の原因となります。

 注意

-  めれた手でカメラを操作しないでください。感電の原因となります。
-  窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
-  長期間使用しないときは、電池を外して保管し手ください。電池の液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。
-  航空機内で使うとき、離着陸時は電源をOFFにします。本機器が出す電磁波により、航空機の計器に影響を与えるおそれがあります。
-  お客様の取り扱い不備により、静止画や動画を再生できない場合は、補償は致しません。ご了承ください。

電池についてのご注意

危険

-  使用中に本体が過熱するときは、すぐにカメラの電源を切り、電池を取り出してください。充電中に電池が過熱するときは、電源を切り、電池を取り出してください。
-  電池を火の中に投下したり、加熱しないでください。液漏れ、破裂、火災の原因となります。
-  電池をショート、分解しないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
-  専用の充電器を使用してください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
-  電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しないでください。ショート、発熱し、火傷やけがの原因となります。
-  電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけてください。目に傷害を与える原因となります。

警告

-  水につけたり、端子部を濡らさないでください。液漏れ、発熱の原因となります。
-  所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
-  外装にキズや破損のある電池は使用しないでください。破裂、発熱の原因となります。

-  電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。破裂、液漏れの原因となります。
-  プラスとマイナスの標示にしたがって、電池を正しく装着してください。電池を無理に電池室に押し込まないでください。
-  電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。

 **注意**

-  長期間使用しない場合は、カメラから電池を外してください。液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

 **警告**

-  充電器を分解したり、修理や改造をしないでください。感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
-  落下などで破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でケガをする原因となります。
-  本体が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、やけどの原因となります。
-  電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でふき取ってください。火災の原因になります。

-
- ❌ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
 - ❌ 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）などの電源に接続して使わないでください。発熱、故障、火災の原因となります。

 注意

- ❌ 濡れた手でさわらないでください。感電の原因になることがあります。
- ❌ 充電器を布などで覆った状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
- ⚠️ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。電源プラグを抜かないでおこなうと、感電、ケガの原因となることがあります。
- ❌ メモリーカードの取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。もしオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。
- ❌ ファームウェアの更新中に電池を抜いたり、カメラの電源をオフにしないでください。故障の原因となることがあります。
- ❌ メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きでカードスロットに合わせて[カチッ]と音がするまで差し込んでください。無理に挿入しないでください。メモリーカードを破損させる原因となります。

目次

| | | | |
|-----------------|----|--|----|
| 警告..... | 1 | モードを使用する..... | 22 |
| 安全上の注意 | 3 | 画面の切り替え表示..... | 22 |
| 目次..... | 8 | 液晶モニター画面表示..... | 23 |
| 準備をする | 12 | 静止画撮影モード表示 | 23 |
| 付属品一覧 | 12 | 動画撮影モード表示 | 24 |
| 各部名称 | 13 | 再生モード表示..... | 25 |
| 電池とメモリーカードの装着.. | 14 | モードボタンの使用..... | 26 |
| 電池を充電する..... | 16 | 自動モード  | 26 |
| 電源をオン/オフに切り換える | 17 | プログラム AE  | 26 |
| 液晶モニターに関するご注意.. | 18 | 手動モード  | 26 |
| 言語と日時の設定..... | 19 | 動画モード  | 27 |
| 言語設定 | 19 | シーンモード  | 27 |
| 日時設定 | 19 | パノラマモード  | 30 |
| 言語を変更する場合 | 20 | 美肌  | 31 |
| 日時を変更する場合 | 21 | 基本操作 | 32 |

| | | | |
|--------------------------|----|--|----|
| ズーム機能を使用する | 32 | 静止画撮影メニュー | 44 |
| マクロモード | 33 | 測光方式  | 44 |
| セルフタイマーモード | 34 | 画像サイズの設定 16M .. | 45 |
| フラッシュモード | 35 | コンティニユアスAF | |
| 機能設定 | 36 |  | 45 |
| 露出補正 | 36 | 連写  | 46 |
| ISO感度 | 36 | 美肌  | 46 |
| シャッター速度 | 37 | AFモード [○] | 46 |
| 絞り値 | 37 | HDR  | 47 |
| 動画撮影ショートカット | 37 | ホワイトバランス  .. | 48 |
| 再生モード | 38 | 色彩  | 49 |
| 静止画と動画を見る | 38 | シーン  | 50 |
| サムネイルビュー | 40 | 静止画撮影設定メニュー  .. | 50 |
| 画像を拡大する （静止画専用） | 41 | 画質の設定 | 51 |
| スライドショー | 42 | AFアシストビーム | 51 |
| 画像を消去する方法 | 43 | デジタルズーム | 52 |
| 操作メニュー | 44 | | |

| | | | |
|--|----|--|----|
| 日付写し込み..... | 52 | 色彩  | 62 |
| レビュー | 53 | 再生設定メニュー  | 62 |
| 顔検出 | 53 | 保護 | 63 |
| 動画撮影メニュー..... | 54 | 消去 | 63 |
| 測光方式  | 54 | DPOF (デジタルプリントオー ダーフォーマット)..... | 64 |
| 画像サイズの設定 FHD .. | 55 | 画像のトリミング | 65 |
| 色彩  | 56 | 一般設定  | 66 |
| 動画撮影設定メニュー  | 56 | 操作音 | 67 |
| AFアシストビーム | 57 | 省電力 | 67 |
| デジタルズーム..... | 57 | 言語設定 | 67 |
| 再生メニュー..... | 59 | ワールドタイム..... | 68 |
| ディスプレイモード  | 59 | 日時設定 | 68 |
| HDR HDR | 60 | 液晶の明度..... | 68 |
| 修正  | 60 | 接続設定  | 69 |
| 画像回転  | 61 | PCに接続する..... | 69 |
| 画像サイズの変更  | 61 | プリンターに接続する | 71 |

| | |
|---|----|
| ファイル設定  | 73 |
| フォーマット..... | 74 |
| カードへコピーする | 74 |
| ファイル番号..... | 75 |
| リセット設定..... | 75 |
| FWバージョン | 76 |

付録..... 77

| | |
|------------------|----|
| 仕様 | 77 |
| エラーメッセージ..... | 81 |
| 困ったときには..... | 84 |
| メモ리카ードの互換性 | 86 |

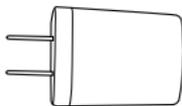
準備をする

付属品一覧

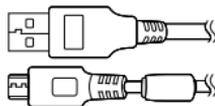
パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください (ACアダプターのプラグの形状は国や地域によって異なります)。



充電式リチウムイオン電池



AC アダプター



マイクロUSBケーブル



リストストラップ



取扱説明書(冊子)



かんたん操作ガイド

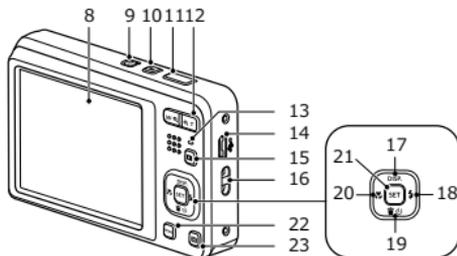
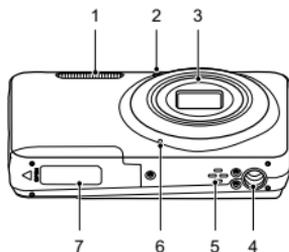


保証書



サービスカード

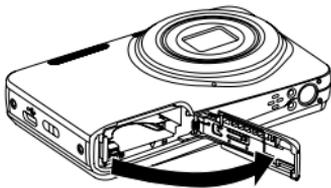
各部名称



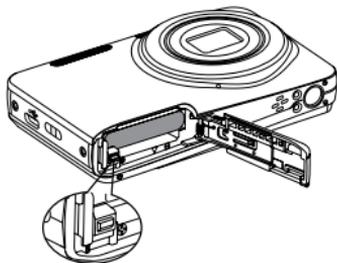
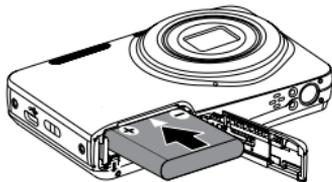
- | | | | |
|----|--------------------------|----|----------------------------------|
| 1 | フラッシュ | 13 | 電源ランプ |
| 2 | AFアシストビーム/ タイマーインジケータ | 14 | USB端子 |
| 3 | レンズ | 15 | 再生ボタン |
| 4 | 三脚ねじ穴 | 16 | ストラップ取り付け部 |
| 5 | スピーカー | 17 | [▲ DISP.] DISP.ボタン/機能ボタン上 |
| 6 | マイク | 18 | [▶ ⚡] フラッシュモード/機能ボタン右 |
| 7 | バッテリーカバー | 19 | [▼ 🗑️ ⌚] 消去/セルフタイマー/ 機能ボタン下 |
| 8 | 液晶モニター | 20 | [◀ 📷] マクロモード/機能ボタン左 |
| 9 | 電源ボタン | 21 | SET ボタン |
| 10 | 録画ボタン | 22 | MODE ボタン |
| 11 | シャッターボタン | 23 | Menu ボタン |
| 12 | ズームボタン | | |

電池とメモリーカードの装着

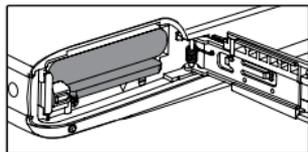
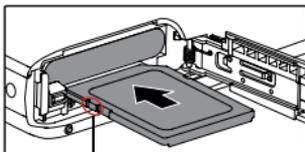
1. バッテリーカバーを矢印方向にスライドさせて開きます。



2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池の側面を使用してストッパーを矢印方向に逃がし、電池を正しく装着します。



3. 図に示すように、メモリーカードをメモリーカードスロットに装着します。



書き込み保護スイッチ



メモリーカード(SD/SDHC/SDXC)は別売りです。カメラの付属品ではありません。市販のメモリーカードを御求めください。4GBから512GBまで使用可能です。

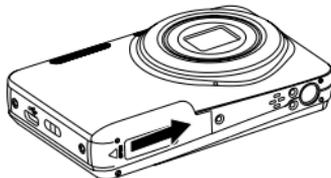
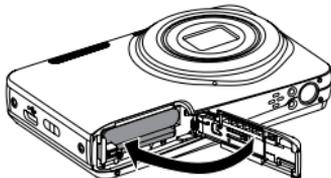


メモリーカードを取り外すには、バッテリーカバーを開け、指で軽く奥に押し込むと、カードが押しだされます。まっすぐ引き抜きます。



SDカードには書き込み保護スイッチが付いています。このスイッチを[Lock]の位置にするとデータの書き込みや消去を禁止します。撮影時や画像を消去する時は[Lock]を解除してください。

4. バッテリーカバーを閉じます。

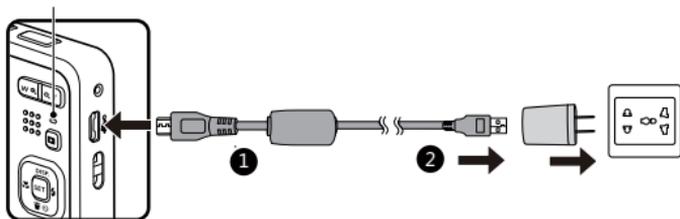


電池を充電する

電池を装着し、充電する前に、カメラの電源はオフにしてください。

1. USBケーブルを利用して、カメラとACアダプターを接続します。
2. ACアダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。

電源ランプ



充電はカメラの電源をオフにして行ってください。



長い間使用されなかった電池は、付属のACアダプターで、充電してから使用してください。



電源ランプ:

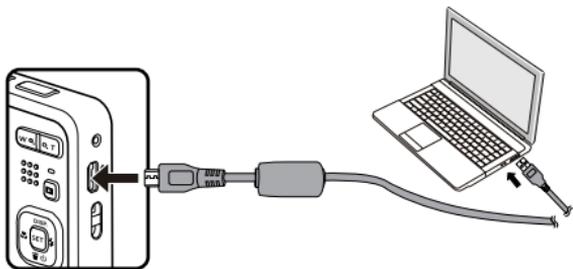
橙: 充電中

充電が完了するとカメラは自動的にパワーオフして電源ランプは消灯します。電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は4時間以上行ってください。



0℃～40℃の室内で電池を充電してください。

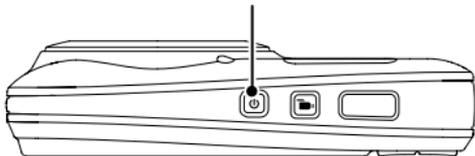
3. カメラの電源オフ後に、USBケーブルでカメラをPCに接続して充電することもできます。



電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。

電源ボタン



再生ボタンを長押しすると、カメラの電源がオンして、再生画面を表示することができます。

液晶モニターに関するご注意

カメラをオンにすると、液晶モニターにさまざまなアイコンが表示され、現在のカメラ設定とステータスを示します。表示されたアイコンの詳細については、23ページの[液晶モニター画面表示]を参照してください。

液晶モニターに関するご注意:

液晶モニターは高精度の技術で製造されていますが、きわめて小さな点(黒、白、赤、青または緑)が常時表示される場合があります。この現象は液晶モニターの特性であり故障ではありません。また、記録された写真に影響を与えることはありません。



液晶モニターが水で濡れることを避けてください。濡れてしまった時は、清潔な、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。



液晶モニターが損傷した場合、モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

- 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り、石鹸と流水でよく洗ってください。
- 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

言語と日時の設定

言語設定

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターに、Language画面が表示されます。
3. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押して、言語を設定します。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。
5. 言語設定が確定後、液晶モニターに、日付/時刻画面が表示されます。

日時設定

1. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押して、[年月日]の表示順を選択します。
2. 機能ボタン右[▶ ] ボタンを押して年月日、時刻を選択し、機能ボタン上 [▲ DISP.]/下[▼  ]を押して、値を合わせます。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。

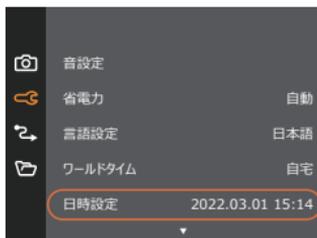
言語を変更する場合

1. カメラの電源をオンします。
2.  ボタンを押し、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、 を選択し、 ボタンをを押します。
3. 設定メニューで、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、 を選択します。
4.  ボタンあるいは機能ボタン右[▶ ]を押し、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、[Language/言語]を選択し、/[▶ ]ボタンを押します。
5. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、Language/言語を選択します。
6.  ボタンを押し、設定を確定します。



日時を変更する場合

1. カメラの電源をオンします。
2.  ボタンを押し、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼ 𐀀 𐀁]を押し、 を選択し、 ボタンを押しします。
3. 設定メニューで、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼ 𐀀 𐀁]を押し、 を選択します。
4.  ボタンあるいは機能ボタン左[◀ 𐀂]/右[▶ ⚡]を押し、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼ 𐀀 𐀁]を押し、[日付/時刻] を選択し、 ボタンあるいは機能ボタン右[▶ ⚡]を押しします。
5. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼ 𐀀 𐀁]/左[◀ 𐀂]/右[▶ ⚡]を押し、値を変更します。
6.  ボタンを押し、設定を確定します。



モードを使用する

画面の切り替え表示

機能ボタン上[▲ DISP.]を押して、画面の表示内容を変更することができます。

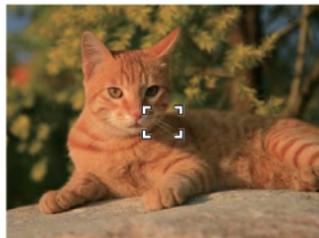
撮影モードのときに機能ボタン上[▲ DISP.]を押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示



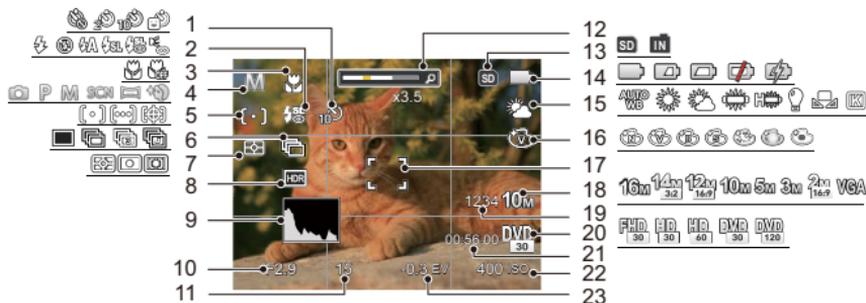
グリッドガイドとヒストグラムの表示



情報表示なし

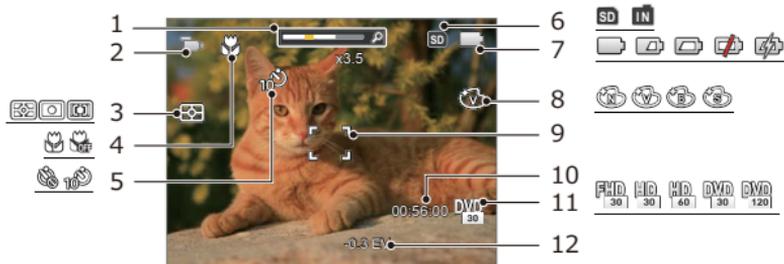
液晶モニター画面表示

静止画撮影モード表示



- | | | |
|--------------|-------------------------|-----------------|
| 1 セルフタイマー表示 | 9 ヒストグラム | 17 AFフレーム |
| 2 フラッシュモード表示 | 10 絞り | 18 静止画画像サイズ |
| 3 マクロモード表示 | 11 シャッター速度 | 19 撮影可能枚数 |
| 4 撮影モードアイコン | 12 ズームインジケーター | 20 動画画像サイズ |
| 5 AFモード | 13 メモリーカード/ 内蔵メモリー表示 | 21 動画撮影可能 時間 |
| 6 連写 | 14 電池残量表示 | 22 ISO感度 |
| 7 測光方式 | 15 ホワイトバランス | 23 露出補正 |
| 8 HDR | 16 色彩 | |

動画撮影モード表示



- | | | |
|-------------|------------------------|-----------------|
| 1 ズームインジケータ | 5 セルフタイマー表示 | 9 AFフレーム |
| 2 撮影モードアイコン | 6 メモリーカード/ 内蔵メモリー表示 | 10 動画撮影可能 時間 |
| 3 測光方式 | 7 電池残量表示 | 11 動画画像サイズ |
| 4 マクロモード表示 | 8 色彩 | 12 露出補正 |

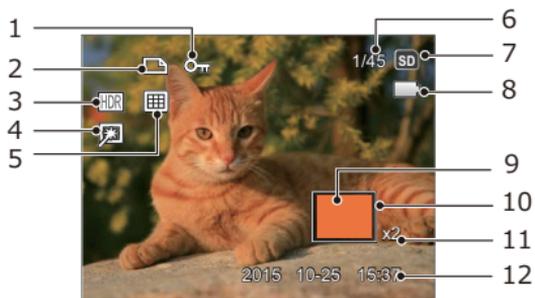


動画の撮影には、Class 10以上のSDHC/SDXCカードの使用をお勧めします。



光学ズームとデジタルズームを調整できます（合計30倍）。デジタルズームは6倍に調整できます。

再生モード表示



- | | | |
|-----------|------------------------|-----------------|
| 1 保護 | 5 日付モード | 9 画面位置表示（案内マーク） |
| 2 DPOF 印刷 | 6 画像番号/総画像数 | 10 縮小液晶モニター |
| 3 HDR | 7 メモリーカード/ 内蔵メモリー表示 | 11 画像の倍率 |
| 4 最適化 | 8 電池残量表示 | 12 撮影日時 |



再生モードのときに機能ボタン上[▲ DISP.]を押して、3種類の画面表示に切り換えます。



機能の情報表示



詳細の情報表示



情報表示なし

モードボタンの使用

カメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。



機能ボタン左[]/右[]を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。 ボタンを押して、設定を確定します。

自動モード

このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

プログラム AE

設定した露出補正值に合わせて、カメラは自動的にシャッター速度を設定します。露出補正值を変更した場合、シャッター速度と絞り値は露出補正值に合わせて変化します。

手動モード

撮影目的に合わせて絞り値、シャッター速度とISO感度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。

動画モード

このモードに切り換えると、動画撮影ができます。

シーンモード SCN

シーンモードでは、状況に合わせて合計14種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。



● 自動シーンモード ASCN

カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。



自動

被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。



風景

背景の露出が最適になるように撮影します。



逆光のポートレート

太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、人物が暗くならないように撮影します。



マクロ

近い被写体に自動的にピントを合わせます。



夜景

ISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。



ポートレート

人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。



夜景ポートレート

人物と背景の明るさを最適になるように撮影します。

● 夜景 

夜景の撮影に適しています（三脚の使用を推奨します）。

● ペットモード 

イヌやネコの顔を検出すると、カメラは自動撮影を行います。

● 雪 

雪景色を撮影する際、見たままの白を表現できます。

● パーティー 

室内のパーティー会場で、照明の効果を生かした撮影に適しています。

● スポーツ 

動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。

● 夜景ポートレート 

夜景を背景にした人物撮影に適しています。

- **ポートレート** 

人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。

- **子供** 

子供の目を保護するため、フラッシュの発光を禁止にします。

- **風景** 

風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。

- **夕日** 

夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。

- **花火** 

夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します（三脚の使用を推奨します）。

- **ビーチ** 

日差しが強い浜辺で明るく鮮やかな写真が撮影できます。

- **手ブレ補正** 

手ブレ補正は、低輝度またはシャッタースピードが低速のときに発生する手ブレの影響を軽減します。

パノラマモード

パノラマモードでは、連続に撮影した画像をつなぎ合わせて、パノラマ写真を合成します。

1. 機能ボタン左[]/右[]を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで2秒経過すると、左から右方向の撮影に設定されます。
2. 最初の写真の撮影が終了すると、LCDの左側と右側に2つのターゲットアイコンが表示されます。丸いターゲットアイコンが正方形のボックスの真上に配置されるまで、カメラを右に移動します。それらが重なるとボックスが緑色に変わり、カメラが自動的に次の写真を撮ります。追加のショットについても同じ手順を繰り返します。最大4つのフレームをつなぎ合わせることができます。



3. 4枚の撮影が終了すると、カメラは自動的に写真を合成します。
4. 4枚以下でも  ボタンを押すことでパノラマ合成できます。



撮影中は、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、露出補正の各モードは使用できません。又、フォーカスは最初の1枚の設定が固定されます。



パノラマ写真撮影中機能ボタン下[  ]を押せば保存せずに取り消すことができます。

美肌

肌色を明るく、美しく見せます。



P

M



SCN



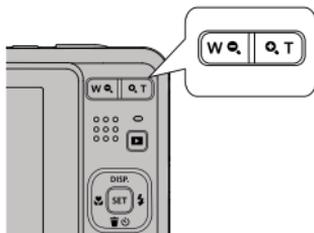
モードで、調整できない項目は以下の表を参照してください。(O：調整できる X：調整できない)。

| 項目 モード | 絞り値 | シャッター速度 | 露出値 | ISO感度 |
|---|-----|---------|-----|-------|
|  | X | X | X | X |
| P | X | X | O | O |
| M | O | O | X | O |
|  | X | X | O | X |
| SCN | X | X | X | X |
|  | X | X | X | X |
|  | X | X | O | O |

基本操作

ズーム機能を使用する

カメラには、光学ズームとデジタルズームの2種類のタイプのズームが装備されています。カメラ背面部のズームボタンを押して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。



デジタルズームがオンに設定されている時は、光学ズームが最大値の5倍に達すると停止します。一旦ズームボタンから指を離し、再度同じ方向に押すと自動的にデジタルズームに切り替わります。



ズームインジケター
(52頁のデジタルズームを参照
してください)。

マクロモード

マクロモードでは被写体に近づいて大きく、細部を撮影することができます。

1. 機能ボタン左[]を押して、マクロモード機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左[ ]/右[ ]を押して、2種類のメニューから選択することができます。

-  マクロ：オフ
マクロ機能をオフにします。
-  マクロ：オン
マクロモードオンの設定により、レンズ前約5cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

3.  ボタンを押して、設定を確定します。

セルフタイマーモード

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1. 機能ボタン下[  ]を押して、セルフタイマー機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左[ ]/右[ ]を押して、4種類のメニューから選択することができます。

-  セルフタイマー：オフ
セルフタイマー機能をオフにします。
-  セルフタイマー：10秒
シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
-  セルフタイマー：2秒
シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
-  セルフタイマー：笑顔
笑顔を検出するとシャッターが切れます。

3.  ボタンを押して、設定を確定します。

フラッシュモード

暗い環境の中、あるいは逆光のときはフラッシュを使用することが有効です。被写体の位置、背景、明るさなどを考慮して適切なモードを選択してください。

1. 機能ボタン右[▶⚡]を押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左[◀⚡] / 右[▶⚡]を押して、6種類のメニューから選択することができます。

-  発光禁止
あらゆる条件下でフラッシュは発光しません。
-  自動発光
カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。
-  強制発光
すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
-  スローシンクロ
夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッター速度を遅くして背景をきれいに写します。
-  スローシンクロ+赤目軽減
スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
-  赤目軽減
予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。

3.  ボタンを押して、設定を確定します。

機能設定

各機能を最適な条件に設定することで、より本格的な撮影を楽しめます。

1. **SET** ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
- 2 機能ボタン左[]/右[]を押して、機能メニューを選択します。



3. 機能ボタン上[ **DISP.**]/下[  ]を押して、値を設定します。
4. **SET** ボタンを押して、設定を確定します。

露出補正

画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します。

露出値の調整可能範囲は、EV-3.0からEV+3.0です。

ISO感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります。ISO感度が高くなるにつれ電氣的なノイズが増えて画像が粗くなります。

ISO感度の調整可能範囲は、自動、100、200、400、800、1600、3200です。

シャッター速度

動きのある被写体を撮影する時、シャッター速度を意図的に速めると被写体が、一瞬止まったように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動く被写体の軌道が流れるように撮影でき、感動を与えてくれます。



シャッター速度の調整可能範囲は、最長30秒です。

絞り値

絞り値を目的に合わせて設定できます。設定した絞り値に応じて適正露出になるようにカメラが自動的にシャッター速度を設定します。焦点の合う位置を調整して、被写体の背景をぼかしたり、あるいは鮮明にすることができます。

動画撮影ショートカット

録画ボタン  を押すと、素早く動画モードに切り替わって録画を開始します。



動画撮影を終了するには、録画ボタン  あるいはシャッターボタンを全押しすると、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

再生モード

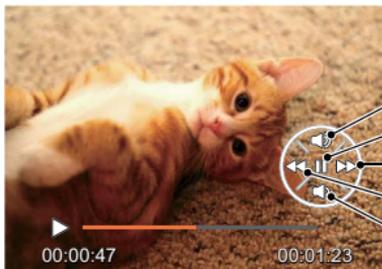
静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態では、 ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左[]/右[]を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、 ボタンを押して動画再生モードに入ります。

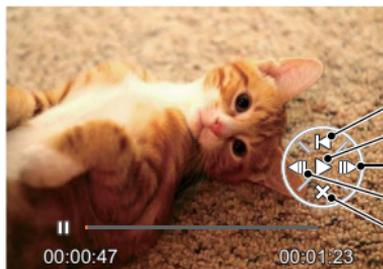
動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左[]/右[]と  ボタンを押して、操作機能の変更ができます。

下記に操作機能を表示してあります。



- 1 音量を上げる
- 2 一時停止
- 3 早送り
- 4 巻き戻し
- 5 音量を下げる

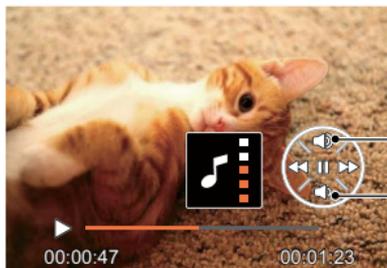
下記に一時停止後の操作機能を表示してあります。



- 6 最初のコマに戻る
- 7 再生の再開
- 8 コマ送り
- 9 コマ戻し
- 10 再生取消

動画再生中は機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼ 音 音]を押すと再生音量を調整することができます。消音の場合は  が表示されます。

下記に操作機能を表示してあります。



- 1 音量を上げる
- 2 音量を下げる

サムネイルビュー

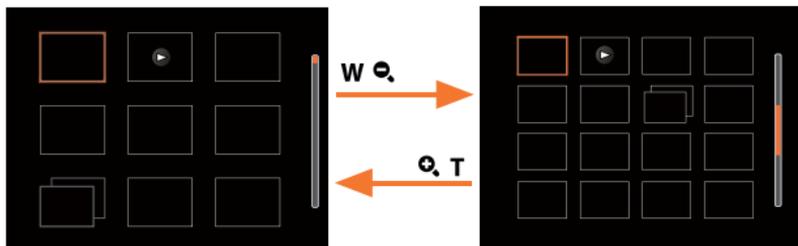
再生モードでズームボタンを **W**  側に押すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

W 縮小側



T 拡大側

1. ズームボタンをW側に押すと、3 x 3 (9コマ) のサムネイル画像が表示されます。さらに押すと、4 x 4 (16コマ) のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン左[]/右[]/上[ DISP.]/下[]を押して、静止画または動画を選択することができます。**SET** ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。



液晶モニターに  のアイコンが表示される時は動画画像です。



サムネイル画像を選択した後、**SET** ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。

画像を拡大する（静止画専用）

ズームボタンは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1.  ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左[]/右[]を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームボタン 、T 側を押して画像を拡大すると、液晶モニター右下に倍率（4.0X）が表示されます。また、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、赤色）が表示されます。機能ボタン左[]/右[]/上[]/下[]を押して、お好みの場所を見ることができます。



4. 拡大した画像を縮小するときは、 ボタンを押します。またズームボタン W側を繰り返し押ししても画像を縮小できます。



動画は拡大できません。



カメラのLCDに表示される画像は実際に記録される画像/ビデオファイルと解像度、色調、露出が若干異なる場合があります。

スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 撮影モードで  ボタンを押します。
2. スライドショーを見るには  ボタンを押します。
3. 機能ボタン左[]/右[]を押して、取消あるいは3種類のメニューから選択することができます。



- 効果1：間隔1秒
 - 効果2：間隔1秒
 - 効果3：間隔1秒
4.  ボタンを押して、設定を確定します。

画像を消去する方法

再生モードで、機能ボタン下[▼🗑️🕒]を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1. [🔄] ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左[◀️🗑️]/右[▶️🔌]を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 機能ボタン下[▼🗑️🕒]を押すと消去画面が表示されます。



4. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼🗑️🕒]を押して、[1枚消去]または[戻る]を選択し、[SET] ボタンを押して、設定を確定します。



消去された静止画/動画は回復することができません。



すべての画像を一括消去する方法は63ページをごらんください。

操作メニュー

静止画撮影メニュー

撮影モードアイコン:   
  

撮影モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下 [▼  ]を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
2. 機能ボタン左[◀ ]/右[▶ ]を押して、メニューを選択します。
3.  ボタンを押して、設定を確定します。



測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

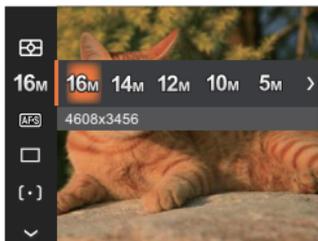


- AiAE：画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。
- スポット：画面中央の狭いエリアを基準に露出を設定します。逆光や明暗差が激しい時の撮影に適しています。
- 中央部重点：画面の中央付近の明るさが適正になるように露出を設定します。被写体を画面中央に配置した構図に適しています。

画像サイズの設定 16M

記録画素数を変更することで、用途に適した画像サイズ、データ量に調整できます。

大きな用紙に印刷したい場合は記録画素数を大きく、メールに画像を添付する場合には記録画素数を小さくします。



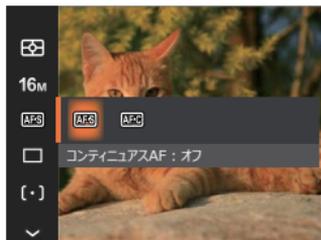
- 16M : 4608x3456
- 14M : 4608x3072 (3:2)
- 12M : 4608x2592 (16:9)
- 10M : 3648x2736
- 5M : 2592x1944
- 3M : 2048x1536
- 2M : 1920x1080 (16:9)
- VGA : 640x480



記録される画素数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。記録される画素数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

コンティニュアスAF **AFS**

コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。



- コンティニュアスAF : オフ
- コンティニュアスAF : オン

連写

この設定により、連写（連続撮影）を行います。シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。



-  一枚撮り
-  連写
-  3Xショット
-  インターバル撮影（30秒/1分/5分/10分）

 連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

 シャッターボタンを全押ししている間、連写を行いません。

美肌

フェース美肌効果を設定します。



-  効果1
肌色
-  効果2
肌色+目を明るく
-  効果3
肌色+目を明るく+目を大きく

AFモード

被写体を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。



- [⋅] シングル AF
画面中央のAFフレームの被写体にピントを合わせます。
- [⋅⋅] マルチ AF
広い範囲を測距し、最も近い位置にピントを合わせます。中抜けを防止し、ピンボケの少ない撮影ができます。
- [⊕] 自動追尾 AF
被写体が動いてもカメラが自動的に追尾して焦点を合わせます。



を有効にすると、自動追尾 AF機能は使用できなくなります。

HDR

明るさの違う複数の写真を合成することで、コントラストが高い被写体でも白飛びや黒つぶれを軽減した写真を撮影できます。（三脚の使用を推奨します）



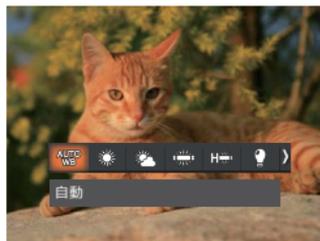
- HDR: オフ
- HDR: オン



HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。

ホワイトバランス AUTO WB

ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します。



- **AUTO WB** 自動
-  白熱電球
-  晴天
-  曇天
-  蛍光灯
-  手動
シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。
-  色温度 (1900K~10000K)
機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼ 設定]を押して「K値を調整」します。機能ボタン左[◀ 設定]を押してK値を終了します。

色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます。



-  普通
-  ドリーム
-  鮮明
-  ぼかし
-  白黒
-  スタジオ
-  セピア色



HDRまた連写機能が有効になっている場合、ドリーム、ぼかし、スタジオの色彩効果は表示されません。

シーン

シーンモード（SCN）でシーンを
選択します。27ページの [シーンモ
ード] を参照してください。



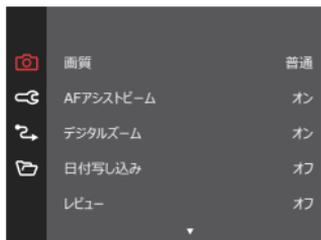
 モードでは、撮影画面の機能ボ
タン下[  ]を押して自動撮影
を設定できます。



静止画撮影設定メニュー



 ボタンを押して設定メニューに
入ります。



画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。



- 精細
16M 平均サイズ：4.0MB
- 標準
16M 平均サイズ：2.5MB
- 普通
6M 平均サイズ：2.0MB

AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。



- AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。



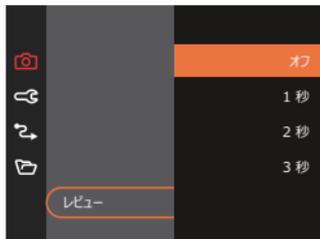
日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。



レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。



顔検出

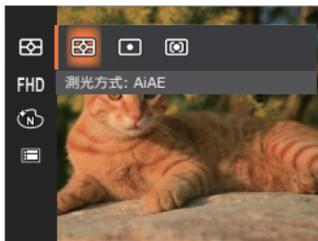
撮影モードで、顔検出の設定をオンにすると、自動で顔に焦点が合います。



動画撮影メニュー

動画モードアイコン：

1.  モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下 [▼  ]を押して、変更するセットアップメニューを選択します。



3. 機能ボタン左[◀ ]/右[▶ ]を押して、メニューを選択します。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。



- AiAE：画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。
- スポット：画面中央の狭いエリアを基準に露出を設定します。逆光や明暗差が激しい時の撮影に適しています。
- 中央部重点：画面の中央付近の明るさが適正になるように露出を設定します。被写体を画面中央に配置した構図に適しています。

画像サイズの設定 FHD

サイズの変更により、画像の解像度が変わります。



高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス：

| No. | 画像サイズ | 駒/秒 | 推奨 | 録画時間 (32GB) |
|-----|---------------|-----|----------|-------------|
| 1 | 1920 x 1080 * | 30 | Class 10 | 約61分 |
| 2 | 1280 x 720 * | 60 | Class 10 | 約64分 |
| 3 | 1280 x 720 * | 30 | Class 10 | 約128分 |
| 4 | 640 x 480 | 30 | Class 10 | 約259分 |
| 5 | 640 x 480 | 120 | Class 10 | 約65分 |



* 動画で連続撮影できるのは1回につき29分までです。



高画質で動画撮影中にカメラ内部の温度が上昇した場合、自動で動画撮影を停止する場合がありますが、これは故障ではありません。



動画の画像サイズを640 x 480 (120fps) に設定すると、撮影時間は30秒、再生は2分となります。



640 x 480 120fpsを選択した場合、音声の記録はできません。

色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます



-  普通
-  鮮明
-  白黒
-  セピア色

動画撮影設定メニュー



 ボタンを押して設定メニューに入ります。



AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。



AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

デジタルズーム

デジタルズームをオンまたはオフにします。



● 撮影モードでの各メニュー（O：選択できる X：選択できない）

| メニュー | 撮影モード | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|--|
| | | P | M | | SCN | | | | | | | |
| | | | | | ASCN | | | | | | | |
| | O | O | O | O | O | O | O | O | O | X | O | |
| 16M | O | O | O | X | O | O | O | O | O | X | O | |
| FHD | X | X | X | O | X | X | X | X | X | X | X | |
| AFS | O | O | O | X | X | X | O | X | X | O | | |
| | O | O | O | X | X | X | O | O | X | X | | |
| | X | X | X | X | X | X | X | X | X | O | | |
| [・] | O | O | O | X | X | X | X | X | X | X | | |
| HDR | O | O | O | X | X | O | O | X | X | X | | |
| AUTO WB | X | O | O | X | X | X | X | X | X | X | | |
| | X | O | O | O | X | X | X | X | X | X | | |
| | O | O | O | O | O | O | O | O | O | O | | |

再生メニュー

モード： 

1. 再生モードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下 [▼  ]を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3.  ボタンを押して、メニューに入ります。



4. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下 [▼  ], 左[ ]/右 [ ]を押して、メニューを選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。

ディスプレイモード



-  静止画撮影モード: すべての画像を表示
-  日付モード: 日付別に整理します

 日付フォルダーは撮影の日付の順番で表示します。

HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。



-  HDR
-  取消



HDR最適化した画像と変更前の画像は共にメモリーに保存されます。

修正

カメラには赤目軽減の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を軽減します。又顔をより美しくする機能もあります。



-  赤目軽減
-  肌色
-  目を明るく
-  目を大きく
-  取消



動画画像は赤目軽減ができません。

画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。



-  右回転
-  左回転
-  取消

 回転して変更した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

 パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

 動画ファイルは向きを回転させることができません。

画像サイズの変更

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。



-  1024x768 にサイズ変更
-  640x480 にサイズ変更
-  取消

 サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

 元の画像サイズが、[640x480]より小さい場合は、サイズ変更することはできません。

 回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。

 パノラマ画像は、サイズ変更できません。

色彩

この設定により、色彩を変更できます。画像にアート効果が追加され、さまざまな色の組み合わせを楽しめます。変更した画像は、新しい写真として元の画像と共に保存されます。



-  取消
-  鮮明
-  セピア色
-  白黒
-  粒状
-  ドリーム
-  ぼかし
-  スタジオ

再生設定メニュー



 ボタンを押して設定メニューに入ります。



保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。



- 一枚：選択した画像を保護します。
- 日付フォルダー：日付フォルダー内の画像を保護します。
- すべて：すべての画像を保護します。
- リセット：すべての画像の保護を解除します。

消去

画像または画像ファイルを消去することができます。



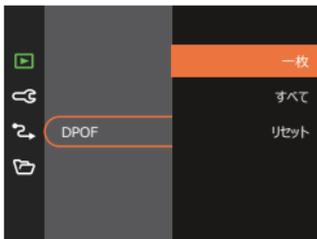
- 一枚：選択した画像を消去します。
- 日付フォルダー：日付フォルダー内の画像を消去します。
- すべて：すべての画像を消去します。

 保護アイコン  が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

 画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOF により印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。



- 一枚
プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚ずつ選択します。
- すべて
すべての画像をプリント予約します。
- リセット
プリント予約を解除します。



印刷には、DPOF対応プリンターをご使用ください。

画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. セットアップメニューからトリミングを選択します。
2. 機能ボタン左[]/右[]を押して、トリミングする静止画を選択し、機能ボタン上[ DISP.]/下[]を押して、[はい]あるいは[戻る]を選択します。
3. [はい] を選択して、 ボタンを押します。
4. ズームボタンと機能ボタン上[ DISP.]/下[]/左[]/右[]を押して、トリミング範囲を調整します。



5.  ボタンを押して、[変更を保存しますか?]と表示されます。✔ あるいは  を選択して、 ボタンを押して、設定を確定します。



画像サイズが[640×480]以下の場合にはトリミングできません。



回転して方向変更した画像はトリミングできません。

一般設定

モード:  P M  SCN   

すべてのモードで  ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押して、 を選択し、 ボタンを押します。次に機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押して、 を選択します。



1.  ボタンあるいは機能ボタン右[▶ ]を押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン右[▶ ]を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]あるいは左[◀ ]/右[▶ ]を押して、メニューを選択します。機能ボタン左[◀ ]を押して、セットアップメニューに戻ることできます。
4.  ボタンを押して、設定を確定します。



変更する機能メニューを選択するとき、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

操作音

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音の大きさを調整することができます。



- オフ
- 音量小
- 音量中
- 音量大



音量を変更することにより、電源/シャッター音が同時に切り替わります。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。



| 省電力 | 液晶モニターが 消灯するまでの時間 | 電源がオフになる 時間 |
|-----|----------------------|----------------|
| 自動 | 3min | 5min |
| 普通 | 1min | 3min |
| 最大 | 30s | 1min |

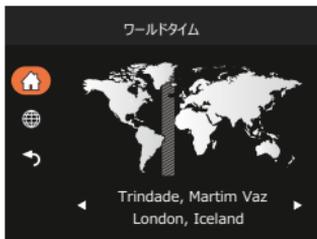
言語設定

20ページの[言語を変更する場合]を参照してください。

ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。海外にいる間、日時設定を変更しなくても、現地時間を写真に記録することができます。

1. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下 [▼  ]を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。
2. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下 [▼  ]を押して、 現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左[◀ ]/右[▶ ]を押して、同じ時間帯の都市を選択し、 ボタンを押して、設定を確定します。都市を設定するだけで時差は自動的に処理されます。



日時設定

21ページの[日時を変更する場合]を参照してください。

液晶の明度

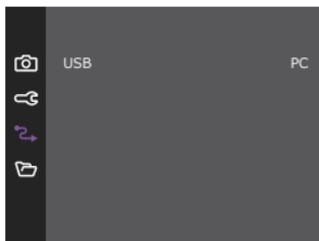
この設定により、液晶画面の明るさを調整することができます。



接続設定

モード:  P M  SCN   

1.  ボタンを押し、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、 を選択し、 ボタンを押しします。
2. 設定メニューで、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、 を選択し、 ボタンあるいは機能ボタン右[▶ ]を押します。
3. USBを選択し、 ボタンあるいは機能ボタン右[▶ ]を押し、サブメニューが表示されます。機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、メニューを選択します。
4.  ボタンを押し、設定を確定します。



PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

USBモードを設定する

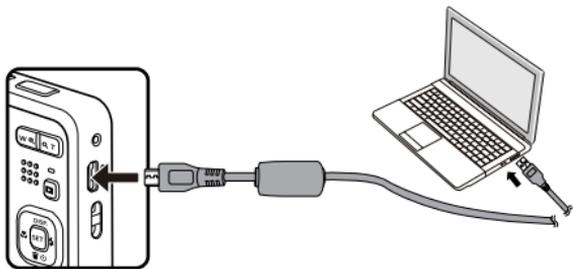
機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押して、[PC]を選択します。  ボタンを押して、設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、カメラ内のフォルダやファイルをPCにコピーすることができます。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

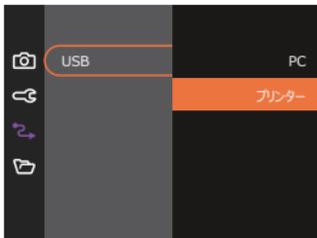
1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。
4. 送信が完了したら、USB機器の安全な取り外し方法が記載してある取扱説明書に従ってUSBケーブルを取り外します。



プリンターに接続する

USBモードを設定する

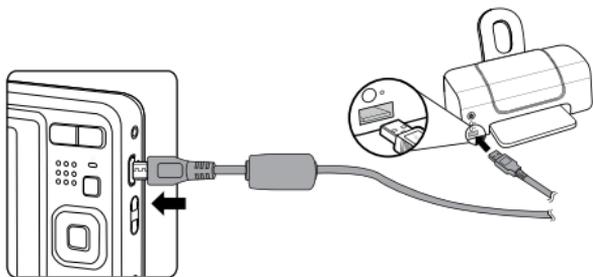
機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼ 𠂆 𠂇]を押して、[プリンター]を選択します。
[SET] ボタンを押して、設定を確定します。



カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。



カメラがプリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

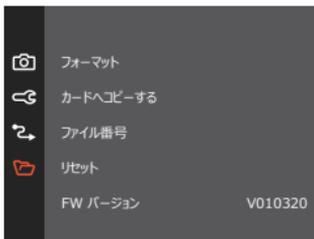


USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

ファイル設定

モード:  P M  SCN   

1.  ボタンを押し、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、 を選択し、 ボタンあるいは機能ボタン右[▶ ]を押します。



3. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、メニューを選択し、 ボタンあるいは機能ボタン右[▶ ]を押し、メニューに入ります。
4. 機能ボタン上[▲ DISP.]/下[▼  ]を押し、メニューを選択し、 ボタンを押し、設定を確認します。

フォーマット

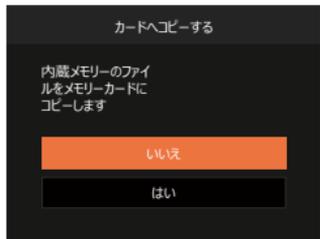
フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。



新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。



カメラにメモリーカードを装着しない場合は、[カードへコピーする]項目は表示されません。

ファイル番号

この設定により、新しいフォルダを作成して画像番号を1から記録することができます。画像ファイルが9999を超えフォルダが999を超えた場合に[メモリーカードに残量がありません。新しいカードに交換してください。]と警告が表示されます)。



リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

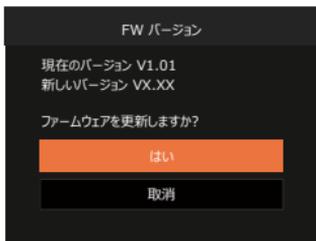


FWバージョン

現在のカメラのファームウェアバージョンの表示またはFW更新をすることができます。



新しいバージョンのファームウェアがSDカード内に保存されている場合にファームウェア更新の確認画面が表示されます。[はい]を選択し、**SET** ボタンを押して、設定を確定します。



電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

付録

仕様



外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。

| | | |
|--------------|---------------------|--|
| 撮像素子 | 形式 | 1/2.3型BSI CMOS |
| | カメラ部有効画素数 | 1635万画素 |
| | 総画素数 | 1676万画素 |
| レンズ | 焦点距離 | 5.1~25.5mm |
| | 35mmフィルム換算 | 28~140mm |
| | 開放F値 | F3.9~F6.3 |
| | レンズ構成 | 8群8枚 |
| | 光学ズーム | 5倍 |
| | 撮影範囲 | 通常撮影 (W) 60cm~∞、 (T) 100cm~∞ マクロ撮影 5cm~∞ (Wのみ) |
| オートフォーカスシステム | TTLオートフォーカス | |
| 手ブレ補正 | 電子式手ブレ軽減 | |
| デジタルズーム | 6倍 (光学5倍と併用して最大30倍) | |

| | | | | |
|-----------------------|-----|--|-------------------------------|---|
| 記録画素数 (画像サイズ) | 静止画 | (4:3) 16MP : 4608×3456 10MP : 3648×2736 5MP : 2592×1944 3MP : 2048×1536 0.3MP : 640×480 | (3:2) 14MP : 4608 ×3072 | (16:9) 12MP : 4608 ×2592 2MP : 1920 ×1080 |
| | 動画 | 1920×1080(30fps)、1280×720 (60/30fps)、 640×480(30fps)、高速ムービー : 640×480 (120fps) | | |
| 画質 | | 精細、標準、普通 | | |
| DCF、DPOF (Ver1.1)サポート | | ○ | | |
| ファイル形式 | 静止画 | Exif 2.3 (JPEG) | | |
| | 動画 | 画像圧縮 : MOV (Motion JPEG)、 音声 : リニアPCM [モノラル] | | |
| 撮影モード | | 自動モード、プログラム AE、手動モード、動画モード、シーンモード、パノラマモード、美肌 | | |
| シーンモード | | 自動シーンモード、夜景、ペットモード、雪、パーティー、スポーツ、夜景ポートレート、ポートレート、子供、風景、夕日、花火、ビーチ、手ブレ補正 | | |
| 検出機能 | | 顔、笑顔、まばたき、犬、猫 | | |
| 画像編集 | | 赤目軽減、肌色、目を明るく、目を大きく | | |

| | | |
|----------|----------|---|
| HDR | | ○ |
| パノラマ | | 最大180° (水平) |
| 液晶モニター | | 2.7インチ TFTカラー液晶モニター (230,400 ピクセル) |
| ISO感度 | | 自動、ISO 100/200/400/800/1600/3200 |
| AF方式 | | シングルAF、マルチAF (TTL 9ポイント)、 自動追尾 AF、顔検出 |
| 測光方式 | | AiAE、スポット、中央部重点、顔AE |
| 露出制御方式 | | プログラムAE (AEロック可能) |
| 露出補正 | | ± 3 EV (1/3ステップ刻み) |
| シャッター | タイプ | メカニカルシャッターとエレクトロニックシャッター |
| | 速度 | 4~1/2000秒 (手動30秒) |
| 連写 | | ○ |
| 再生モード | | 静止画、サムネイル (9/16)、スライドショー、日付、 ズーム (約2倍~8倍) |
| ホワイトバランス | | 自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 CWF、白熱電球、 手動、色温度 (1900K~10000K) |
| フラッシュ | フラッシュ方式 | 内蔵 |
| | フラッシュモード | 発光禁止、自動発光、強制発光、スローシンクロ、スローシンクロ+赤目軽減、赤目軽減 |

| | | |
|--------------|------|---|
| フラッシュ | 調光範囲 | (W) 約 0.3m ~ 3.9m (ISO800) (T) 約 1.2m ~ 2.4m(ISO800) |
| | 充電時間 | 6秒以下 |
| 記録メディア | | 内蔵メモリー: 63MB |
| | | SDカード/SDHCカード/SDXCカード(512GB までサポート)[MMC カードサポートなし] |
| 多言語のサポート | | 27言語 |
| 入出力端子 | | USB 2.0 (Micro 5 pin USB) |
| 電源 | | 充電式 Li-ion電池 LB-012, 3.7V 700mAh、 (本体装着で充電可) |
| バッテリーの充電時間 | | 約 2時間 (ACアダプターを使用し、バッテリー が消耗している) |
| 撮影枚数 (電池寿命) | | 約 200ショット (CIPA標準に基づく) ビデオの場合は約1時間30分 (@1080/30fps) |
| 動作環境 | | 温度: 0~40℃ 湿度: 90%以下 (結露しないこと) |
| 寸法(幅x高さx奥行き) | | 約 91.5×56.5×22.9mm |
| 質量 | | 約 106g (本体のみ) |

エラーメッセージ

| メッセージ | 説明 | リセット方法 |
|--------------------------|---|---|
| 警告! バッテリー残量がなくなりました | カメラのバッテリーがなくなりました。カメラがシャットダウンすることを示す警告です。 | バッテリーを充電してください。 |
| レンズエラー、カメラを再起動してください | レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。 | カメラの電源をオフし、再起動してください。 |
| 三脚の使用をお勧めします | シーンモードの中で長いシャッタースピードまで使用するモード(花火モード、夕日モード、夜景モードなど)を選択すると表示されます。 | 撮影する前に三脚等でカメラを固定してください。 |
| バッテリーが過熱しています | 電池温度が53.5℃に達すると、表示されます。 | 2秒後、自動的に電源はオフになり、温度が下がった後、使用することができません。 |
| 内蔵メモリーエラー | 内蔵メモリーにエラーが発生しました。 | 内蔵メモリーをフォーマットしてください。 |
| 画面が一致しませんもう一度やり直してください | 構図を決めるときカメラの移動角度のズレが大きいです | 撮影中は水平に移動します。 |
| 警告! 更新中はカメラの電源を切らないでください | ファームウェアを更新するときに表示されます。 | ファームウェア更新後、カメラがオフして表示が消えます。 |

| メッセージ | 説明 | リセット方法 |
|--------------------|---|--|
| 接続に失敗しました | PC、プリンターの接続が失敗しました。 | USBケーブルを取り外し接続を解除すると、表示は消えます。 |
| 充電した後再更新します | 電池残量が不足して、ファームウェアの更新ができない警告です。 | 充電後に更新を行ってください。更新画面に戻ります。 |
| 書き込み保護 | メモリーカードが書き込み保護されています。SDカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。 | メモリーカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。 |
| メモリーカードの残量がありません | メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。 | 新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。 |
| 内蔵メモリーの残量がありません | 内蔵メモリーがいっぱいで、新しい画像を保存できません。 | 新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。 |
| カードエラーです | <ul style="list-style-type: none"> メモリーカードのフォーマットを識別または読み込みできません。 SDXCメモリーカードが装着されています。 | 新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。 |
| カードがフォーマットされていません | フォーマットされていないメモリーカードが装着されているか、PCなどでフォーマットされたSDカードが装着されています。 | メモリーカードをフォーマットしてください。 |
| SDカードに書き込むことができません | 撮影した画像をSDカードに保存できません。 | SDカードを交換します。 |

| メッセージ | 説明 | リセット方法 |
|------------------------------|--|--|
| SDHCメモリーカード（クラス10以上）をおすすめします | HD動画の録画に、Class 10以前のSDカードを使用すると、書き込み速度が遅くなり、録画を継続できなくなります。 | SDカードはClass 10以上のものを使用してください。 |
| 赤目現象はありません | 赤目の現象は、画像から検出されません。 | 表示は2秒後に消え、最適化メニューに戻ります。 |
| この画像は編集できません | このファイルフォーマットでは編集できません。一度編集した画像は再度編集できません。 | ほかの写真を選択してください。 |
| フォルダー番号が最大値になっています | SDカードのフォルダー番号が最大値（999）に達すると、カメラの起動時間が遅くなる可能性があります。 | 資料をパソコンにコピーし、保存してください。カメラで、メモリーカードをフォーマットしてください。 |
| 画像が多すぎて処理できません | 日付別に再生しているとき、画像が多すぎて、日付別に再生できなくなりました。 | 不要な画像を削除することで、表示できる場合があります。 |
| ファイルを認識できません | 画像フォーマットがサポートされていません。画像が損傷しています。 | 他社のカメラやPCでは再生できる場合があります。 |
| 画像がありません | メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。 | 表示は2秒後に消え、撮影画面に戻ります。 |
| 保護されています! 消去できません! | 画像は保護されています。消去する前に、保護を解除してください。 | 消去する前に、保護を解除してください。 |

困ったときには

| 問題 | 考えられる原因 | 解決法 |
|--------------------------|--|---|
| カメラがオンにならない。 | <ul style="list-style-type: none">■ 電池切れです。■ 電池が正しく装着されていません。 | <ul style="list-style-type: none">■ 新しい電池に交換してください。■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。■ 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を装着します。 |
| 操作中にカメラが突然オフになる。 | <ul style="list-style-type: none">■ 電池切れです。 | <ul style="list-style-type: none">■ 新しい電池に交換してください。■ 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 |
| 写真がぼやける。 | <ul style="list-style-type: none">■ レンズが汚れています。■ 手ブレ、被写体ブレになっています。 | <ul style="list-style-type: none">■ 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。■ DIS手ブレ軽減を有効します。 |
| 静止画、動画ファイルを保存することができません。 | <ul style="list-style-type: none">■ メモリーカードの残量がありません。 | <ul style="list-style-type: none">■ メモリーカードを新しいものと交換してください。■ 不要な画像を消去してください。■ メモリーカードのロックを解除してください。 |
| シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。 | <ul style="list-style-type: none">■ メモリーカードの残量がありません。■ ファイルを保存する空き容量がありません。■ 再生モードになっています。 | <ul style="list-style-type: none">■ メモリーカードを新しいものと交換してください。■ 不要な画像を消去してください。■ メモリーカードがロックされています。■ モードボタンを押して、 に合わせます。 |

| 問題 | 考えられる原因 | 解決法 |
|------------------------------|---|---|
| <p>接続したプリンターから画像を印刷できない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ カメラがプリンターに正しく接続されていません。 ■ プリンターが用紙またはインク切れです。 ■ 用紙詰まりです。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ カメラとプリンターの接続を確認してください。 ■ プリンターに用紙を補給してください。 ■ プリンターのインカートリッジを交換してください。 ■ 詰まっている用紙を取り除いてください。 |
| <p>メモリーカードの書き込み速度が遅い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ クラス10以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ クラス10以上のSDカードを使用してください。 |
| <p>メモリーカードに書き込むことができません。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ メモリーカードが書き込み保護されています。 ■ 静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ カードの書き込み保護スイッチをオフにしてください。 ■ ハイクラスのメモリーカード（Class 10以上）に切り替えてください。 |

メモ리카ードの互換性

• このカメラで使用できるカード (✓ : 使用可 X : 使用不可)

| | micro SD | micro SDHC | micro SDXC | SDカード への変換ア ダプター | SD | SDHC | SDXC |
|--------|--------------|------------|---------------|------------------------|--------------|------------|---------------|
| フォーマット | FAT12, 16 | FAT32 | exFAT | - | FAT12, 16 | FAT32 | exFAT |
| 容量 | 2 GB まで | 4~32 GB | 64GB ~ 2TB | - | 2GBま で | 4~32 GB | 64GB ~ 2TB |
| 互換性 | X | X | X | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

メモ리카ードには書き込み速度を表すスピードクラスが表示されています。

撮影されるビデオ録画モードに適切な書き込み速度のメモリーカードをご使用ください。(O: 推奨 X: 非推奨)

| | スピード クラス | UHS スピードクラス | ビデオスピ ードクラス | ビデオ録画 | | | |
|----------|-------------|----------------|----------------|-------|-----|----|-----|
| | | | | 4K | FHD | HD | VGA |
| 90MB/sec | | | V90 | O | O | O | O |
| 60MB/sec | | UHS-III | V60 | O | O | O | O |
| 30MB/sec | | UHS-I | V30 | O | O | O | O |
| 10MB/sec | Class 10 | | V10 | O | O | O | O |
| 6MB/sec | Class 6 | | | X | X | X | O |
| 4MB/sec | Class 10 | | | X | X | X | O |
| 2MB/sec | Class 2 | | | X | X | X | O |

© 2022 JK Imaging Ltd. All Rights Reserved.

コダックの商標、ロゴおよびトレードドレスは、イーストマン・コダック社からのライセンスに基づき使用されます。

All other logos, products or company names that are referred to in this document are trade names, trademarks or registered trademarks of their holders. The holders are not affiliated with JK Imaging Ltd., our products or our website.

JK Imaging Ltd., 17239 So. Main Street, Gardena, CA 90248 USA

kodakpixpro.com

Made in Myanmar (Burma)

Document No/Sequence: U.DIS.0062.0422.jp.02



Ver. 2.0